

2017年 第4回 IEEE 東京支部理事会 議事録

日 時：2017年12月22日(金) 15:00～17:30

場 所：秋葉原 UDX カンファレンス 6F TYPE120

出席者：笹瀬 Chair、佐藤 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、
奥村 (代理)、浅田、八井、二見、岡田、中村 (代理)、奥田、滝嶋、
三木、鈴木、萩本、原崎、藤代、矢野
(敬称略、順不同)

オブザーバ：百武

事務局：加藤 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認 【審議】 (資料 1)
2. Japan Council 理事会 (2017年第3回) 報告 (資料 2)
3. 2017年東京支部活動報告 (資料 3)
4. 2017年東京支部決算予想 (資料 4)
5. 常設委員会 2017年活動報告および2018年活動計画・予算案 【審議】 (資料 5)
 - ・ Chapter Operations Committee
 - ・ Fellow Nominations Committee
 - ・ Membership Development Committee
 - ・ Technical Program Committee
 - ・ Publications Committee
 - ・ Student Activities Committee
 - ・ History Committee
6. Affinity Group 2017年活動報告および2018年活動計画・予算案 【審議】 (資料 6)
 - ・ Life Member Affinity Group
 - ・ Young Professionals
7. 2018年東京支部活動計画 【審議】 (資料 7)
8. 2018年東京支部予算 【審議】 (資料 8)
9. その他 (資料 9)
 - ・ Japan Council Women in Engineering 報告
 - ・ IEEE の日本語名称
 - ・ メール配信の不具合について
 - ・ IEEE Tokyo SIGHT 設立について 【審議】

議事：

0. 笹瀬 Chair のご挨拶

年末の多忙な中での参加に感謝の意が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】

(資料 1)

杉江 Secretary より前回理事会(2017 年第 3 回)の議事録について説明があり、異議なく承認された。

2. Japan Council 理事会 (2017 年第 3 回) 報告

(資料 2)

杉江 Secretary より 12 月 4 日に開催された JC 理事会(2017 年第 3 回)の報告があった。支部 MD Chair 等を対象に JC MD Coordinator が MD セミナーを計画していることや JC LMAG Coordinator からは東京支部に対し IEEE Life Members Affinity Group Achievement Award に応募するよう依頼があったことなどが述べられた。

3. 2017 年東京支部活動報告

(資料 3)

杉江 Secretary より本年度の活動報告があった。計 4 回の理事会の開催、講演会の開催、Student および Affinity Group の活動、Milestone をはじめとした各種受賞などの説明があった。なお年度末までの活動を確認して報告書の追加更新を行う。

4. 2017 年東京支部決算予想

(資料 4)

眞田 Treasurer より報告があった。収入に関しては、予算策定時の想定為替レートより円安で推移したため合計で予算比 108%の見込みとなった。支出に関しては予算比 104%の見込みである。

5. 常設委員会 2017 年活動報告および 2018 年活動計画・予算案【審議】

・ Chapter Operations Committee

(資料 5-1)

奥村 Vice Chair より報告があった。本年の活動報告として東京支部傘下 Chapter からの MOU 申請に対する審議および承認答申について説明があった。2018 年の活動計画も引き続き Chapter 運営支援を行うことが述べられた。

・ Fellow Nominations Committee

(資料 5-2)

浅田 Chair より報告があった。ノミネーション依頼メールの送付が完了し、東京支部傘下 Chapter Chair にはシニアメンバー一覧も送付したことが説明された。また、来年度のフェロー昇格者(日本全体で 12 名、うち東京支部 6 名)と昇格者数統計について説明があった。

・ Membership Development Committee (資料 5-3)

八井 Chair より報告があった。会員への情報発信として Web 改訂作業を行い、会員継続・獲得施策としてメール配信やパンフレット配布を行った。本年度の東京支部の会員獲得状況に対して本部より Outstanding achievement in member recruitment の表彰を受けた。来年度も継続的な活動、IEEE 本部等からの MD 活動要請に応じた取組を行う。

・ Publications Committee (資料 5-4)

岡田 Chair より報告があった。本年は MDC 報告のとおり連携して Web 改訂作業を行った。その他にも Bulletin 発行、ホームページ更新、R10 Newsletter 投稿、などの活動報告、また来年度の計画について説明があった。

・ Student Activities Committee (資料 5-5)

中村 Secretary より本年度の各 SB 主催イベント開催実績などの活動報告、来年度計画および予算について説明があった。

次に高校生への旅費支援に関する審議があり、支払いが了承された。杉江 Secretary より IEEE 本部も高校生の IEEE イベントへの参加は推奨していることが伝えられた。

・ History Committee (資料 5-6)

奥田 Chair より報告があった。本年度の活動として 3 件の Milestone 贈呈式、HISTELCON 2017 への協力、講演会を開催した。さらに今後の東京支部の Milestone 候補申請状況について報告があった。来年度計画は、申請のサポートを継続し、HEMT が認定された際には贈呈式のサポートを行う。

6. Affinity Group 2017 年活動報告および 2018 年活動計画・予算案【審議】

・ Life Member Affinity Group (資料 6-1)

三木 Chair より報告があった。本年度は講演会の共催、見学会の開催、イブニングサロンの開催、LMAG ニュースレターの発行を実施した。特にイブニングサロンと東京支部外での見学会（依佐美送信所）は初の試みであり反響もあったため今後も開催を検討する。来年度計画については本年の活動を継続する。

・ Young Professionals (資料 6-2)

鈴木 Chair より本年度の活動報告および来年度の活動計画、予算案について説明があった。活発な活動が評価され 2017 R10 YP Affinity Group Award を受賞した。来年度の活動は本年同様の計画に加え、東京支部 YP が 10 周年を迎えるため記念イベントを行うことを検討している。

7. 2018年東京支部活動計画【審議】

(資料 7)

杉江 Secretary より報告があった。総会及び理事会の開催予定、財政運営、講演会・学生支援活動、会員活性化施策、認定及び表彰支援、会員とのコミュニケーション、Industry Promotion 活動の強化、東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援、関連組織との連携と協力について計画が述べられ、2018年活動計画は承認された。

8. 2018年東京支部予算【審議】

(資料 8)

眞田 Treasurer より説明があった。2018年度の予算案は昨年度をベースとして必要に応じ調整を加えた。2018年予算案は承認された。

9. その他

・ Japan Council Women in Engineering

(資料 9-1)

矢野理事 (JC WIE Chair) より本年度の活動報告および来年度計画の説明があった。来年度は役員の新体制への移行と主催・共催イベント、表彰関連、R10 SYWL Congress へのメンバ派遣を予定している。さらに IEEE WIE ILS 2018 の日本開催を本部に提案することが報告された。

・ IEEE の日本語名称

(資料 9-2)

杉江 Secretary より JC 理事会での決定内容について説明があった。日本語での表記については「アイ・トリプル・イー」を正式名称とする。JC Web サイトに掲載を行い、報道機関などに参照してもらうことが報告された。

・ メール配信の不具合について

(資料 9-3)

杉江 Secretary より報告があった。経緯は前回理事会報告の通りである。事務局のメール配信システムに替え IEEE 本部のメール配信サービス「eNotice」をメインに使用することで問題無く対応ができています。

・ IEEE Tokyo SIGHT 設立について【審議】

(資料 9-4)

矢野理事より、設立を希望する経緯、本組織の概要、設立のメリット、メンバの内訳、活動案について説明があった。当面は YP のメンバが主となる。2018年度は本部支援範囲の活動を想定し、支部への予算請求は行わない。本件は異議なく承認された。

配布資料：

- ・ 2017年 IEEE 東京支部 TPC 活動報告

以上